

平成30年度 事業実施計画書（モデル的事業）

団体名：清見町まちづくり協議会

1. モデル的事業名	地域防災対応促進事業
2. 事業名	清見地区防災対応促進事業
3. 目的	<p>近年、立て続けに甚大な災害に見舞われ、橋の流失、床上浸水、田畑への流入、集落の孤立、避難生活などが発生している。</p> <p>地域の懇談会や市長と語る会などでも、防災環境の整備、住民の防災意識向上、防災の取り組みに向けた体制整備など、地域事情を考慮した防災の取り組みが課題となっている。</p>
4. 事業内容	<p>①防災の取り組みをコーディネートする体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織、消防団、防災士などによる検討チームの設置 ・ 整備が必要な防災資材の検討。 ・ 防災訓練メニューの検討 ・ 町内間連携訓練の検討 など ・ 講師を依頼し防災に関する研修会の実施
5. 効果見込	<p>有事の際に対応ができるよう体制整備と必要最低限の防災機器等を備えることにより町内住民も安心して避難できるとともに、防災活動に取り組む事ができる。</p> <p>自助、共助の取り組みを進め、町内会単位の防災の取り組みから町内間などの地域内の防災体制を整えていくことができる。</p>

平成 30 年度 事業スケジュール

月 日	項 目	事業内容 (対象・方法等)	摘 要
8 月～	・ 防災検討チームについての検討会議	・ 防災検討チームの体制やメンバーについての検討	
9～10 月	・ 防災アンケートの実施	・ 住民の防災意識を確認するためのアンケート実施	
10 月	・ 防災検討チームの依頼	・ 防災検討チームのメンバーを選定し依頼する。	
11 月 1 日	・ 防災検討チームの発足 (※チームから委員会へ)	・ 清見地区防災対応促進委員会の発足 ・ 自主防災組織の長 13 名ほか、計 27 名。 ・ 委員長、副委員長と理事 6 名で理事会を設置	
11 月～3 月	・ 清見地区防災対応促進委員会理事会の開催 (2 回) ・ 清見地区防災対応促進委員会の開催 (2 回)	・ 各地区の現状の確認と共有 (アンケート結果より) ・ 意識の向上に向けた取り組み。(どんな手段でやっていくのか検討) ・ 町内間連携について検討 ・ 各地区に必要な防災機器の検討 ・ 防災機器の配備・管理方法の検討 ・ 防災訓練メニューの検討	
2 月	・ 防災研修会の実施	・ 講師を招いて委員会メンバーによる研修会を実施	

平成30年度 清見町まちづくり協議会 収支予算書 (モデル的事業)
清見地区防災対応促進事業

【収 入】

単位：円

区 分	予算額	内 訳
市補助金	60,000	協働のまちづくり支援金(モデル的事業)
合 計	60,000	

【支 出】

単位：円

事業・科目	予算額	内 訳	
		支援金充当額	
事業費	60,000	60,000	
需用費	10,000	10,000	食糧費(会議時お茶代)
報償費	32,000	32,000	講師謝礼
旅費	18,000	18,000	講師旅費
合 計	60,000	60,000	